

2026年4月17日

産業別四半期見通し調査結果 (2026年4～6月期見通し)

■長野県産業天気図

◇2026年1～3月期の現況

- 全12業種中、「薄日(順調)」が1業種、「曇り(普通)」が7業種、「小雨(低調)」が4業種となった。

◇2026年4～6月期の見通し

- 見通しは、「薄日(順調)」が1業種、「曇り(普通)」が7業種、「小雨(低調)」が4業種となった。方向感では、「横ばい」が8業種、「やや下降」が4業種となっている。

| 天気図記号 | 2025年 10～12月期現況 | 2026年 1～3月期現況 | 2026年 4～6月期見通し |
|--------|--------------------|------------------|-------------------|
| 晴れ(好調) | 0 業種 | 0 業種 | 0 業種 |
| 薄日(順調) | 1 業種 | 1 業種 | 1 業種 |
| 曇り(普通) | 7 業種 | 7 業種 | 7 業種 |
| 小雨(低調) | 4 業種 | 4 業種 | 4 業種 |
| 雨(不調) | 0 業種 | 0 業種 | 0 業種 |

■4～6月期見通しのポイント



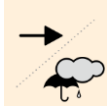


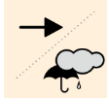


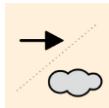


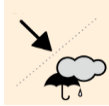


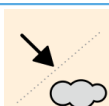


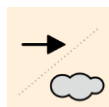


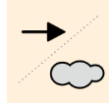


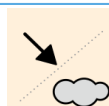


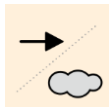


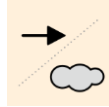


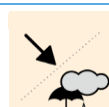


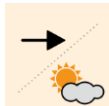
- 製造業、非製造業ともに天気マークに変化はない見通し


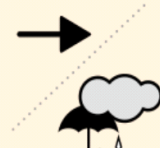
照会先
一般財団法人 長野経済研究所
調査部(担当: 桑井、須田)
TEL: 026-224-0501


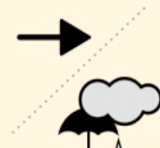




<産業別天気図一覧(12業種)>



- 調査内容:業界の「現況」、「見通し」は、県内の企業経営者が業界の景気をどうみているかについてアンケート調査とヒアリング調査をした結果を基に、当研究所が判断した。
- 調査期間:2026年3月中旬～4月上旬
- 調査回答企業:県内主要企業12業種の116社


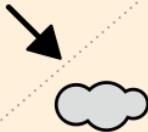
| 業種 | 前期 (25年10～12月期) | 今期 (26年1～3月期) | 来期 (26年4～6月期) |
|-----------|---|---|---|
| 生産用機械 |  |  |  |
| 電子部品・デバイス |  |  |  |
| 自動車部品 |  |  |  |
| 飲料製造 |  |  |  |
| 食料品製造 |  |  |  |
| 機械器具卸 |  |  |  |
| 大型小売 |  |  |  |
| 自動車販売 |  |  |  |
| 公共工事 |  |  |  |
| 民間工事 |  |  |  |
| 貨物 |  |  |  |
| 観光 |  |  |  |


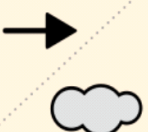
| 生産用機械 | IT関連は堅調ながら自動車関連で投資抑制が続き受注は低調 |
|--|--|
| <p>● 現況</p>  | <p>生産用機械の受注は、旺盛な半導体需要が続いている生成AI用のデータセンター向けがけん引し、IT関連は堅調だったものの、バッテリー式電気自動車(BEV)需要の減少を背景に、自動車関連で設備投資抑制が続いたことから、総じて低調だった。今後も、IT関連は堅調が続くものの、自動車関連は投資抑制が続き、受注は低調となる見通し。こうした中、中東情勢の緊迫化に伴う原材料・消耗品価格の上昇や供給不足が懸念材料となっている。</p> |
| <p>● 見通し</p>  | <ul style="list-style-type: none"> ● 工作機械の受注は、国内では自動車関連を中心に低水準が続く見通し。一方、海外では、中国向けは政府による設備更新補助が下支えし底堅く、米国向けも堅調とみられる。 ● 半導体製造装置の受注は、データセンター向けを中心に底堅い見通し。 |


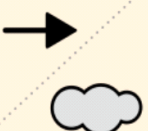
| 電子部品・デバイス | IT関連向けは底入れ感がみられるものの、自動車向けは低調な見込み |
|---|---|
| <p>● 現況</p>  | <p>IT関連向けは、一部に人工知能(AI)サーバー向けの需要がみられ、PC・スマートフォン向けも在庫調整の進展から受注は持ち直した。車載用は、バッテリー式電気自動車(BEV)需要の減少から受注は低調だった。産業機械向けは、設備投資の慎重化から受注が伸び悩んだ。今後は、IT関連向けを中心に受注は持ち直す見込みだが、レアアース等の輸出規制や中東情勢の緊迫化による資源価格高騰、部材の調達不安から、先行き不透明感が強まっている。</p> |
| <p>● 見通し</p>  | <ul style="list-style-type: none"> ● IT関連は、在庫調整の進展やAIサーバー向けの需要増により、受注は持ち直す見込み。 ● 車載用は、BEV需要の停滞等から受注は弱い動きが続くとみられる。産業用も、先行き不透明感の高まりを受けた設備投資の伸び悩みから受注は低調な見通し。 |


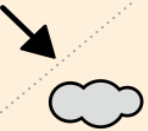
| 自動車部品 | 需要は底堅い見通しだが中東情勢の緊迫化による生産面への影響が懸念される |
|--|--|
| <p>● 現況</p>  | <p>アジア向けはBEV需要の減少から低調な一方、北米向けはハイブリッド車(HV)を中心に堅調なほか、国内向けも底堅く、全体として受注は底堅かった。今後も底堅い受注が見込まれるが、中東情勢の緊迫化を背景に、資源価格の高騰による収益の悪化や、部材の調達不安による生産面への影響など、先行きに対する不透明感が強まっている。</p> |
| <p>● 見通し</p>  | <ul style="list-style-type: none"> ● 国内向けは新型車を中心に底堅い需要が見込まれるほか、北米向けも米国の通商政策の影響があるものの日系完成車メーカーの販売は堅調なことから、受注は底堅い見通し。 ● 中国向け、東南アジア向けは、中国メーカーとの競合激化から日系完成車メーカーの販売シェアが低下しており、受注は低調な見込み。 |



| 飲料製造 | 製品価格の上昇が需要を押し下げ |
|--|--|
| <p>● 現況</p>  | <p>消費者の節約志向が続く中、製品価格の上昇が需要を押し下げ、売り上げは伸び悩んだ。今後も製品価格が高値圏で推移することで需要の押し下げが続くとみられる中、製造コストの上昇に伴い、利益は減少する見込み。</p> |
| <p>● 見通し</p>  | <ul style="list-style-type: none"> ● 果汁・野菜ジュースなどの清涼飲料は、ジュースの原料となる濃縮果汁の不足を背景に製品価格が高止まりすることで需要を下押しし、売り上げは伸び悩む見通し。 ● 清酒・ワインなどのアルコール飲料は、包装資材や物流費など製造コストの上昇が利益を下押しする見通し。そのうち清酒は、製品価格が高値圏で推移することから需要の弱さが続く見通し。また、ワインも節約志向などを背景に横這い圏内の動きが続く見通し。 |


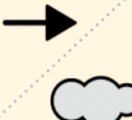
| 食料品製造 | 需要は堅調だが、製造コスト上昇で利益は減少する見込み |
|--|---|
| <p>● 現況</p>  | <p>家庭用は、調理の手間を省ける製品や健康志向に配慮した製品を中心に底堅い需要が続いた。また、業務用も宿泊・外食向けを中心に需要は堅調に推移した。今後は、総じて堅調な需要が続き、売り上げは安定推移を見込む。ただ、中東情勢の緊迫化に伴う原油価格高騰の影響で、包装資材、物流費、燃料費などの製造コストが上昇し、利益は減少する見込み。</p> |
| <p>● 見通し</p>  | <ul style="list-style-type: none"> • 味噌などの調味料や加工肉などは、内食が堅調な中、塩分量や添加物を抑えた健康面に配慮した製品を中心に需要は底堅い見込み。 • 乾燥食品などは、時短ニーズや防災備蓄向けのニーズを背景に需要は底堅い見込み。 • ソースなどは、外食向けの需要が底堅く推移する見込み。 |


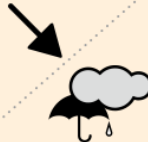
| 機械器具卸 | 需要は堅調ながらも、仕入価格上昇や商品不足が懸念 |
|---|--|
| <p>● 現況</p>  | <p>機械需要は、自動車関連では設備投資の抑制が続いた一方、半導体関連では持ち直しがみられ、総じて堅調だった。また、建設・電設資材の需要は民間の建築工事を中心に堅調だった。今後も、機械や建設・電設資材の需要は堅調さが続くと思われるが、中東情勢の緊迫化から仕入価格の上昇や商品不足が懸念される。</p> |
| <p>● 見通し</p>  | <ul style="list-style-type: none"> • 工作機械などの機械需要や制御機器などのFA機器の需要は、半導体関連がけん引し底堅いとみられる。切削用工具類などの消耗品受注は、低水準が続くとみられる。 • 建設・電設資材の取扱量は、民間企業の建物投資の増加やLED照明器具への切り替えなどを中心に堅調とみられるが、樹脂製品など仕入価格の上昇や商品不足が懸念される。 |


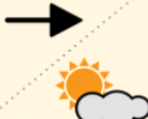
| 大型小売 | 販売価格の引き上げが続き、売り上げは堅調な見通し |
|--|---|
| <p>● 現況</p>  | <p>物産展や季節に合わせた催事による集客効果に加えて、コメや生鮮食品といった食料品価格の上昇などにより、売り上げは堅調だった。一方で、人件費等の増加により収益面は幾分悪化している。今後も消費者の節約志向は続くものの、食料品を中心に販売価格の上昇が続くことから、売り上げは堅調な見通し。</p> |
| <p>● 見通し</p>  | <ul style="list-style-type: none"> • 百貨店は、節約志向の高まりから季節食料品や化粧品等の雑貨が伸び悩んでいるものの、食料品や催事による売り上げが堅調に推移する見込みから、総じて底堅い見通し。 • スーパーは、消費者の買い上げ点数が減少しているものの、販売価格の引き上げによって食料品を中心に売り上げは増加する見込み。 |

| 自動車販売 | 消費者の慎重姿勢が続き、需要は弱含む見通し |
|--|---|
| <p>● 現況</p>  | <p>新車販売は、消費者の節約志向の高まりや物価高に伴う車両価格等の上昇により、販売台数は前年を下回った。中古車販売は年式の新しい車両を中心に底堅く推移した一方、輸入車販売は減速した。今後もガソリンや食料品価格等の高止まりによる消費者の慎重姿勢が続き、需要は弱含む見通し。</p> |
| <p>● 見通し</p>  | <ul style="list-style-type: none"> • 新車販売は、軽自動車の下支えするものの、普通車の減少により弱い動きが続く見通し。 • 中古車販売は、新車販売の減少に伴い在庫不足が続くとみられるが、人気車種を中心に需要は底堅く推移する見通し。 • 輸入車販売は、人気SUVの投入やモデルチェンジがあることで、やや持ち直す見通し。 |

| 公共工事 | 河川・砂防工事や道路のメンテナンス工事などで底堅い工事量を維持する |
|--|--|
| <p>● 現況</p>  | <p>三遠南信自動車道関連事業などの土木工事や公共施設の改修工事などを中心に、堅調な工事量となった。今後も防災・減災を目的とした河川・治山工事や道路のメンテナンス工事などの発注が見込まれ、工事量は底堅い水準を維持する見通し。</p> |
| <p>● 見通し</p>  | <ul style="list-style-type: none"> ● 国では、三遠南信自動車道などの道路工事や防災・減災を目的とする河川工事などが見込まれ、底堅い工事量となる見通し。 ● 県では、治水・治山工事を中心に道路や橋梁のメンテナンス工事などが見込まれ、安定した工事量を維持する見通し。 ● 市町村では、学校関連など公共施設の整備を中心に、堅調な工事量を見込む。 |

| 民間工事 | 民間企業の建設投資を中心に安定した工事量を見込む |
|---|---|
| <p>● 現況</p>  | <p>民間企業の建設投資は、工場の新增設やリゾート開発などにより、堅調な工事量となった。新築住宅は、資材価格や人件費の高騰など建築コストの上昇により着工戸数は低調に推移した。今後も建築コストは上昇する見通しだが、企業の建設投資を中心に安定した工事量を見込む。</p> |
| <p>● 見通し</p>  | <ul style="list-style-type: none"> ● 民間企業の建設投資は、製造業の工場建設に加え、白馬・軽井沢でのリゾート開発などもあり安定した工事量となる見通し。 ● 住宅関連は、原材料費の高騰などを背景に注文住宅の受注が減少し、着工戸数は減少する見込み。その一方で、建築コスト抑制のため中古住宅やリフォーム需要は増加する見通し。 |

| 貨物 | 工業製品の荷動きは中国向けや石油由来製品などを中心に弱さを見込む |
|--|---|
| <p>● 現況</p>  | <p>工業製品は、中国向けなど輸出関連を中心に低調な荷動きが続いた。食品・雑貨類も物価高などに伴い販売量が伸びず、荷動きに弱さがみられた。人件費や車両費・車両整備費といったコストの増加に加え、3月中旬以降は中東情勢の緊迫化による燃料の調達難などもあり、業況を下押しした。今後、工業製品は輸出関連製品のほか石油由来製品なども生産・出荷が弱含むとみられ、引き続き貨物量は総じて低調に推移する見通し。</p> |
| <p>● 見通し</p>  | <ul style="list-style-type: none"> ● 工業製品は、自動車部品の荷動きは底堅さを維持するものの、生産用機械や電子部品は中国向けや石油由来の関連製品を中心に弱含む、総じて貨物量は低調を見込む。 ● 食品や雑貨類は、物価高の影響などから荷動きは力強さを欠くとみられる。 |

| 観光 | 旅客・宿泊とも山岳観光などで順調な利用を見込む |
|--|--|
| <p>● 現況</p>  | <p>ウインタースポーツに伴うインバウンドの宿泊需要が旺盛で、スキー場近隣だけでは賅いきれず、その周辺地域にまで広がりをみせた。中国からの旅行者は減少したものの、アジア圏や欧米などからの利用客が増加した。今後は、旅客・宿泊とも山岳観光などで順調な利用が見込まれるが、中東情勢の悪化や燃料費高騰を含む物価高が、需要を下押しする懸念がある。</p> |
| <p>● 見通し</p>  | <ul style="list-style-type: none"> ● 旅客は、行楽シーズンを迎え貸切バスや高速バスの観光利用が堅調に推移する一方、燃料費、人件費等のコスト増加が利益を圧迫する見通し。 ● 宿泊施設は、予約が順調で大型連休を中心に利用客の増加を見込む。ただ、中東情勢悪化に伴う航空機の運航制約や運賃上昇などがインバウンド客を減少させる懸念がある。 |